

新技術等 概要説明資料

※登録番号
19-1
※登録年月日
令和7年3月31日更新 平成19年5月18日登録

1 新技術等の名称	貫入袋 (JISU A 1219) 標準貫入試験用試料納入袋			※受理番号
				令和6年度更新-1
2 分類 (該当するものに○)	新技術	新工法	新製品	申請年月日
			○	令和6年12月17日
3 キーワード 複数記入可 (該当するものに○)	安全・安心	環境	情報化	コスト縮減・ 生産性の向上
	公共工事の 品質確保・向上	景観	伝統・歴史 ・文化	リサイクル
	○			
4 開発目標 複数記入可 (該当するものに○)	省人化	省力化	経済性の向上	施工精度の向上
				○
	耐久性の向上	安全性の向上	作業環境の向上	周辺環境への 影響抑制
	省資源・ 省エネルギー	品質の向上	リサイクル性向上	その他
		○		
	その他の場合の目標			
5 開発体制 (該当するものに○、 開発会社等を記入)	単独	○	共同 (民・民)	
	共同 (民・官)		共同 (民・学)	
	開発会社	株式会社 共和開発		
	開発年月	平成15年4月11日		
6 問合せ先	会社名	株式会社 共和開発		
	担当部署	技術部		
	担当者	阿部 勝		
	住所	岩手県奥州市衣川表96番地		
	電話	0197-52-3939		
	FAX	0197-52-3278		
	E-mail	kyouwa.39@coffee.ocn.ne.jp		

注) ※は記入しないでください。

7 新技術等の概要	
<p>本製品は標準貫入試験で採取した試料をより正確に、きれいに収納する貫入袋である。これまでは、貫入試験機のサンプラーで採取した試料を1回1試料として市販のポリ袋に混合した状態で収納していたため、地層区分の判定に誤差を生じていたものを正確に採取の状態を保存するのが本製品の特徴である。</p> <p>本製品は、層の変わり目、層区分ごとに収納できるため層境の把握、地層の区分けを採取した状態での収納に最も配慮した製品となっている。これより地層境界・試料の信頼性の向上に役立つものである。</p> <p>袋の表面には孔番、深度やN値等の記載項目と記載欄が設けられている。4種類のサイズで康成されており採取した試料の長さに合わせて適当な幅の試料袋を選択し使い分けることができることを特徴とする。</p> <p>層境の品質向上により、より正確な値で断面の作成に役立つ製品である。</p>	
8 新技術等の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ①試料が混じり合うことなく収納できる ②コア箱を開いた状態で袋を開けずとも試料を観察できる ③袋を開けて試料に触りやすい ④データの記入漏れがなく、一目でわかる ⑤横型なのでコア写真をきれいに撮影できる ⑥袋サイズの組み合わせにより地層の区分けができる ⑦試料を良好な状態で保管することができる ⑧技術的信頼性が向上する 	
9 施工方法又は製造方法	従来技術等との比較
標準貫入試験において採取した試料を袋に入れ、空気を出して袋のファスナーを閉める。	コア写真をきれいに撮影できる
10 施工単価又は商品単価	従来技術等との比較
別紙のとおり	
11 適用条件・適用範囲 (施工上・使用上の留意点を含む)	従来技術等との比較
<p>JISU A 1219 標準貫入試験</p> <p>採取した試料をより良い状態に保ちながら本製品に収納し、袋の中の空気を抜いてからファスナーを閉める。 試料の出し入れの際には、ファスナー部分を折り込んで使用する。</p>	<p>地層境界の信頼性が上がる</p> <p>試料を良好な状態で保管することができる</p>

注) 記入しきれない場合は、適宜、該当欄を広げて記入して下さい。

12 残された課題と今後の開発計画				
<p>販路拡大</p> <p>札幌・仙台・東京・新潟・大阪・広島・四国・福岡等に販売代理店があり、全国的な販売を展開しているが岩手県内の販売が伸び悩んでいる。</p>				
13 実証試験等の実施状況				
<p>本製品を使用することにより、納品時、完成検査時及び報告書取りまとめにおいて成果品の作成がよくなるなどの評価を得ている。</p>				
14 新技術等の効果	比較する従来技術等		各サイズの組み合わせ・記入欄	
項目	活用の効果（該当するものに○や数値を記入）			比較の根拠
①経済性	向上（ %）	同程度	低下（ %）	
②工程	短縮（ %）	同程度	増加（ %）	
③品質	向上	同程度	低下	
④安全性	向上	同程度	低下	
⑤施工性	向上	同程度	低下	
⑥環境	向上	同程度	低下	
⑦その他	向上	同程度	低下	
15 他機関等での評価の有無（複数記入可）				
・評価の有無				
・評価機関及び評価制度				
・評価又は登録年月日				
・評価又は登録番号				

注) 記入しきれない場合は、適宜、該当欄を広げて記入して下さい。